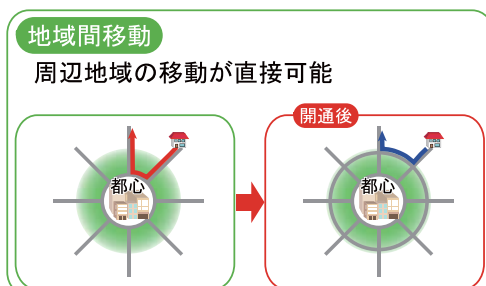
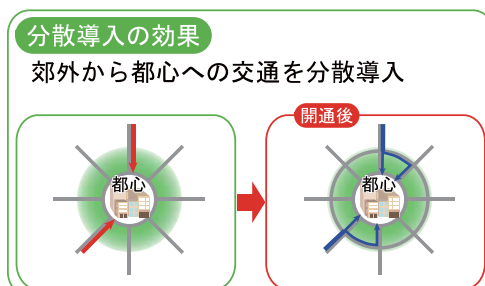
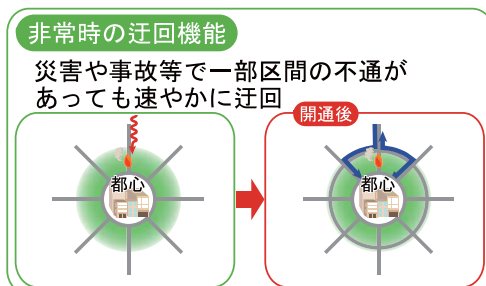
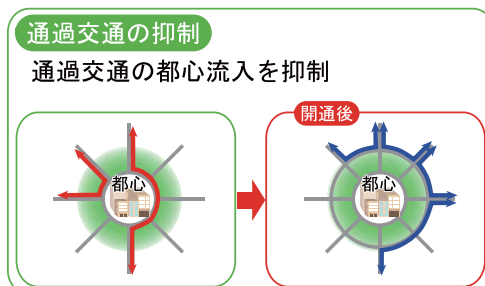


事業の概要及び効果

国道3号熊本北バイパスは、熊本都市圏内の環状道路の一部となり、熊本市及び沿線地域の交通混雑の緩和及び交流・連携機能の確保等を目的として計画された道路です。

平成27年3月に全線開通しました。
 今後は、熊本市北区四方寄町から合志市須屋間の約1.8kmについて4車線化を進めます。

環状道路とは、都心部からの放射道路を相互に連絡して都心方向に集中する交通の分散を図るとともに、都心部の通過交通をバイパスさせる役割を担い、市街地部の渋滞緩和や環境の改善を図るものです。

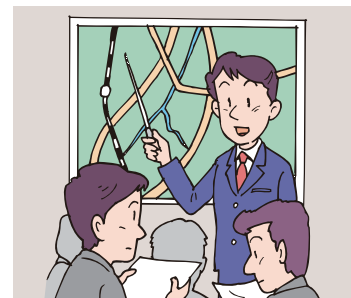


事業の経緯

昭和48年度	事業化
昭和51年度	用地買収着手
昭和60年度	工事着手
平成3年12月	完成開通 (4/4) L=1,000m
平成10年12月	暫定開通 (2/4) L=3,200m
平成12年1月	暫定開通 (1/4) L= 400m
平成14年3月	完成開通 (4/4) L= 960m
平成16年1月	完成開通 (4/4) L=2,240m
平成20年3月	完成開通 (4/4) L=1,600m
平成27年3月	暫定開通 (2/4) L=1,800m

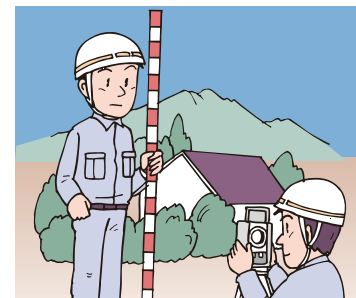
バイパスができるまで

1 事業の概略説明



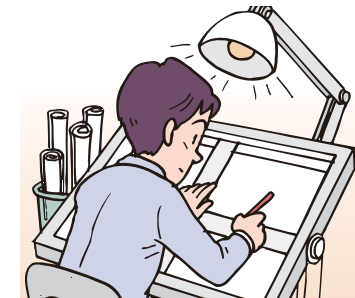
概略の図面で計画した基本設計で地元の関係者の方々に説明します。

2 測量・地質調査



関係者の了解を得て、現地の測量及び地質等を調査して、現地の状況を把握します。

3 道路実施設計



現地調査の結果に基づき、詳しい道路の設計を行います。

4 設計説明・協議



出来上がった設計図を基に、地元関係者の方と道路の高さ、取付道路等の内容について協議します。

5 用地幅杭設置



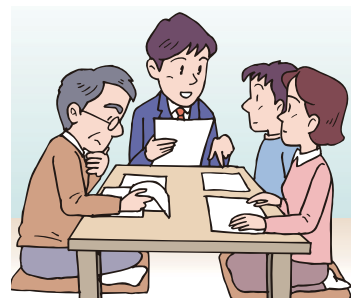
設計協議の了解を頂ければ、現地に道路用地として必要な幅を明示する用地幅杭を設置します。

6 用地調査 (用地測量と物件調査)



用地幅杭を設置したあと関係者と立会のうえ境界を確認し、一筆毎の用地測量や建物等物件の調査をします。

7 用地説明・協議



関係者と用地買収、家屋移転等について協議します。

8 用地買収 (調印と登記手続)



地権者の首様と協議の了解が得られたら契約調印のうえ、登記手続と補償金の支払いをします。

9 工事説明



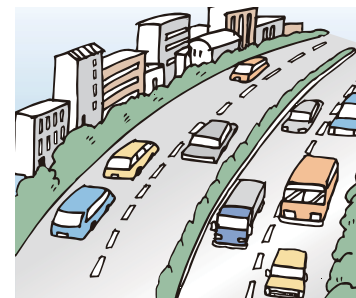
工事中に御迷惑をおかけしないように工事の進め方、工事中の交通処理等について説明します。

10 工事



工事中でも乗入口等について調整します。

11 道路の開通



…以上です。



御協力よろしく
 お願いいたします。



平成27年3月25日撮影

KUMAMOTOKITA BP



国土交通省 九州地方整備局
熊本河川国道事務所

〒861-8029 熊本市東区西原1丁目12-1
 TEL.096-382-1111 FAX.096-382-8412
 ホームページアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto>
 E-mail アドレス kumamoto@qsr.mlit.go.jp

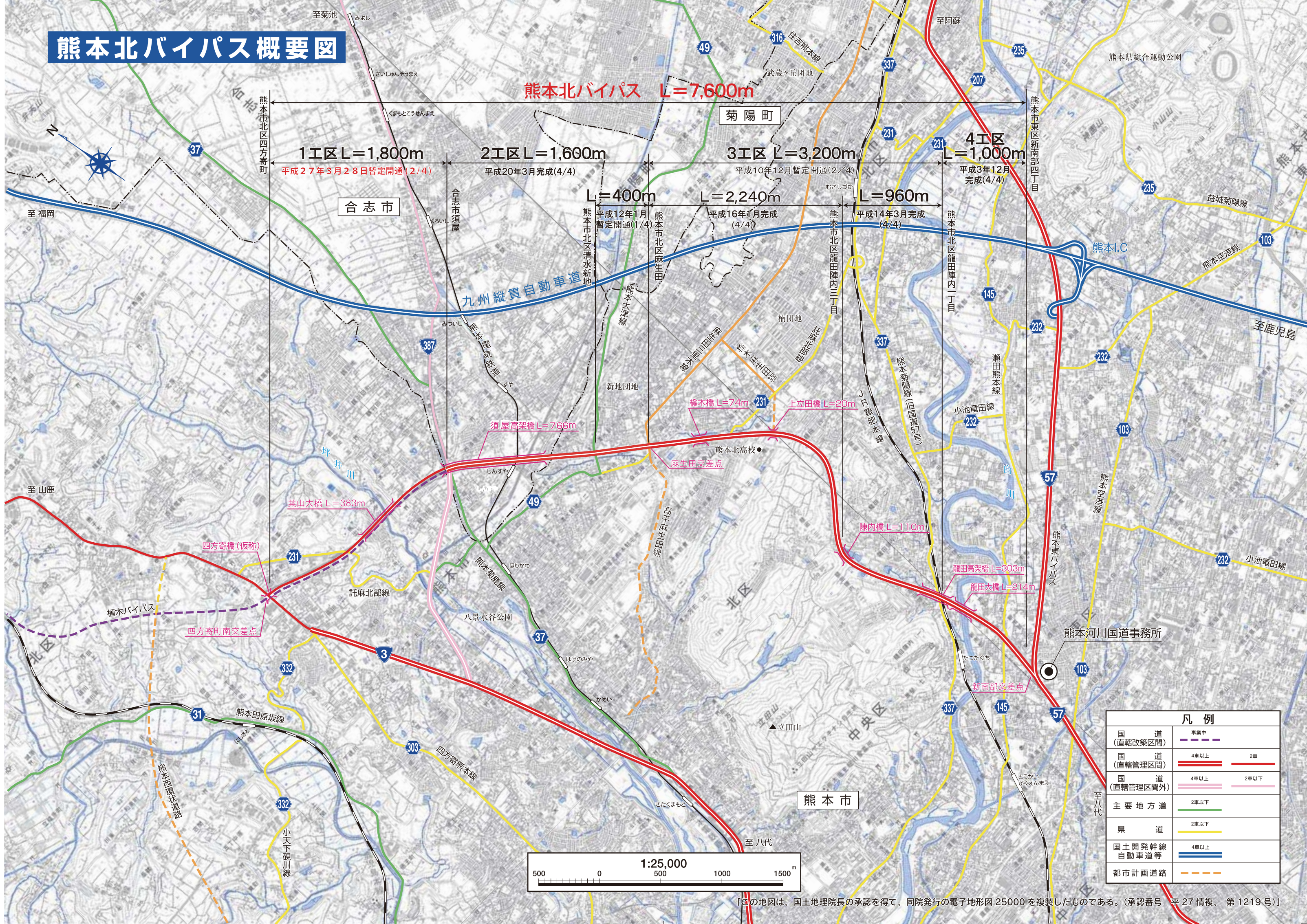
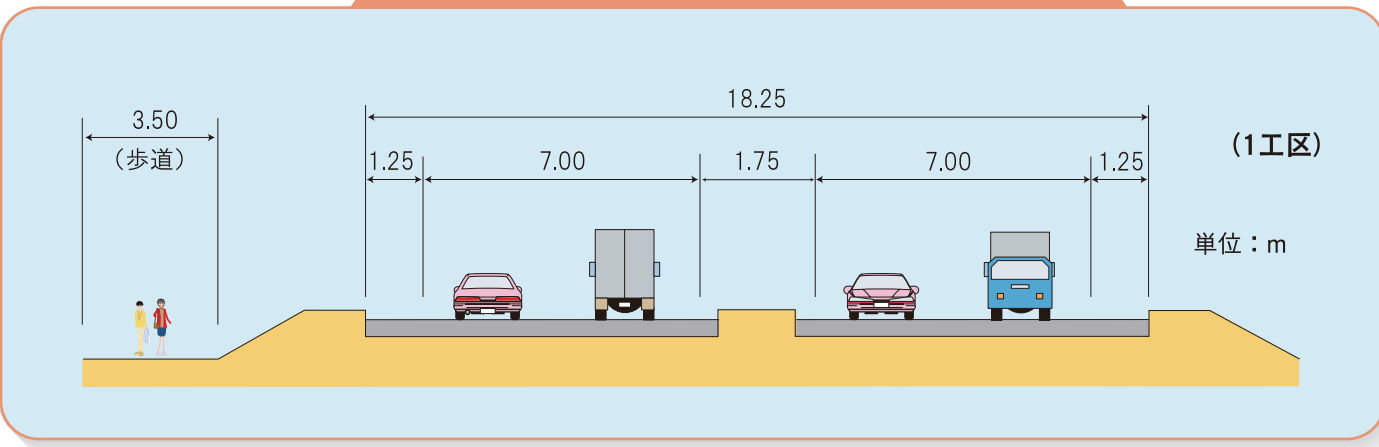


▲葉山大橋

計画諸元

路線名	国道3号 熊本北バイパス
事業区間	自 熊本市北区四方寄町 至 熊本市東区新南部4丁目
計画延長	7,600m
構造規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
幅員構成	W=21.75m(3.5-1.25-7.0-1.75-7.0-1.25)

標準断面図



国道 (直轄改築区間)	事業中
国道 (直轄管理区間)	4車以上 2車
国道 (直轄管理区間外)	4車以上 2車以下
主要地方道	2車以下
県道	2車以下
国土開発幹線自動車道等	4車以上
都市計画道路	-----

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 平 27 複製、第 1219 号)